TOTO 洗面器用シングルレバー混合栓施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、⚠注意の表示によってお知らせしています。

⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

⚠注意

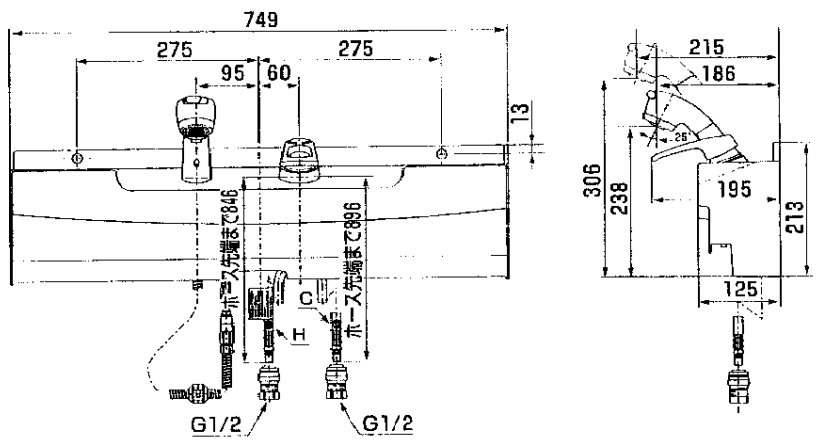
(1)湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

(2)凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。（寒冷地用）

完　成　図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

TL482UCEF型



付属部品明細

	名　　称	数　量
1	壁固定木ねじ〔φ4.5×50〕	2本
2	化粧キャップ	2個
3	施工説明書	1枚
4	取扱説明書	1冊
5	ストッパー	1個

使　用　条　件

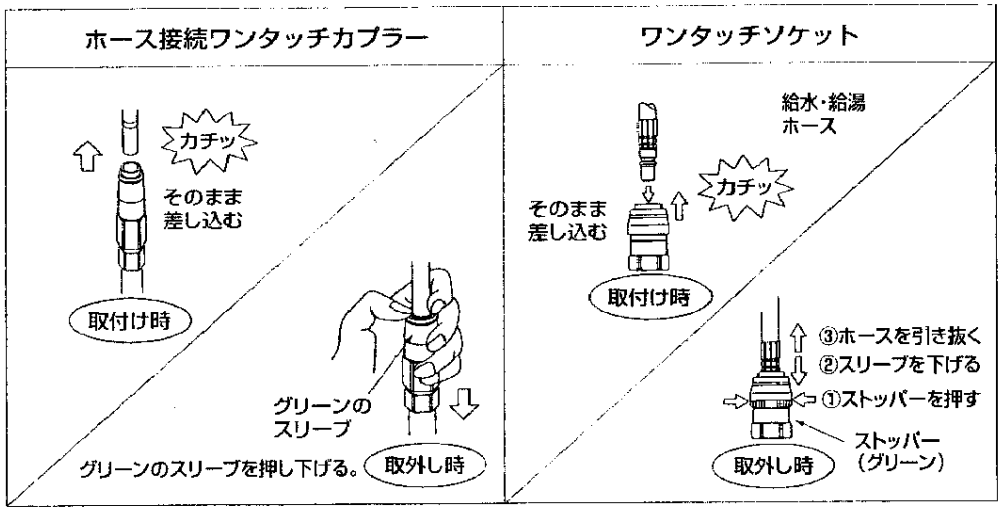
1. 使用水圧

給水圧力 | 最低必要水圧…0.05 MPa
給水圧力 | 最高水圧……0.75 MPa

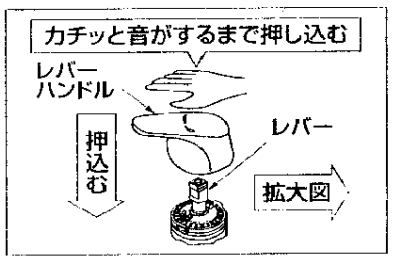
2. 湯水を逆配管しないでください。
給水ホースにはⒸラベルを給湯ホースにはⒽラベルを張付けています。
3. 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず止水栓をご用意ください。

取付け前に

より簡単に施工していただくために、本商品は、ホース接続ワンタッチカプラー及びワンタッチソケットを採用しています。

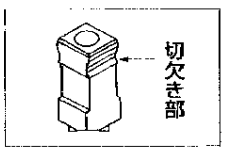


レバーハンドルの取付要領



このレバーハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。

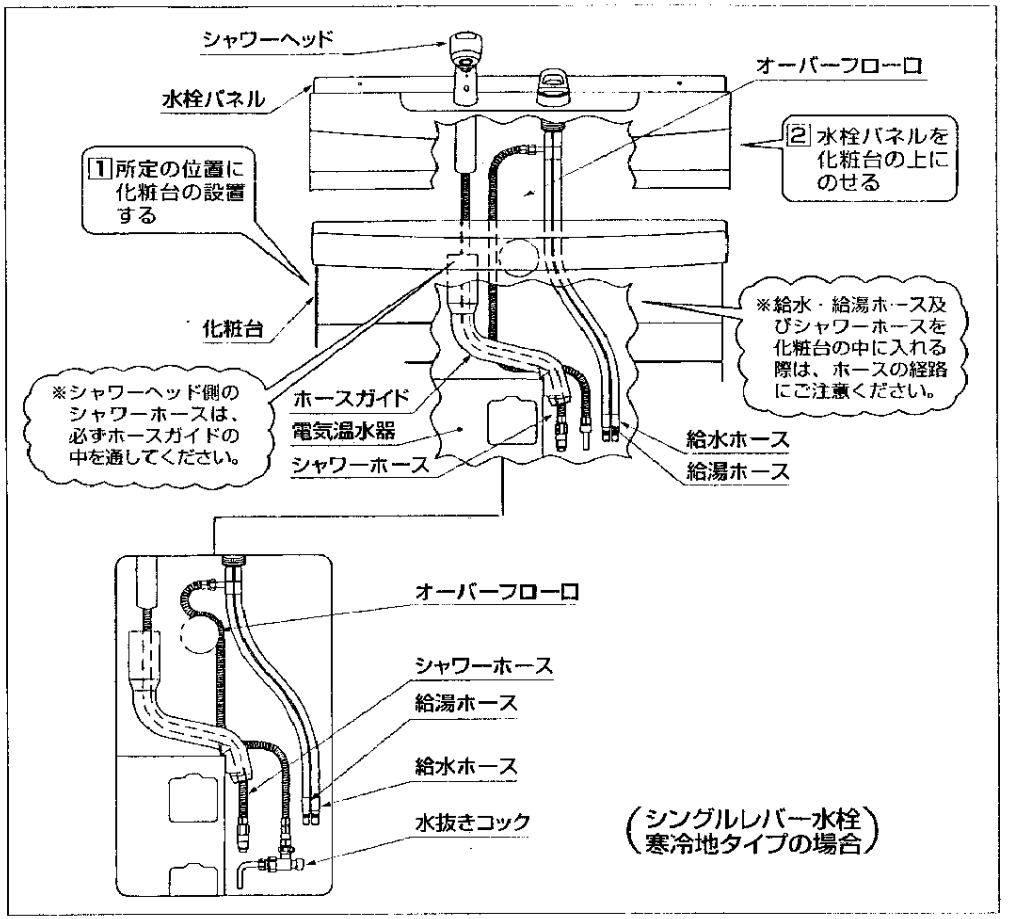
ご注意



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。
正面からみてレバーの切欠きは、両サイドにあります。
万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押込んでください。
最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

器具の取付け

1. 給水管内の清掃
   器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などは完全に洗い流してください。
2. 水栓パネルを化粧台の上に仮置きしてください。

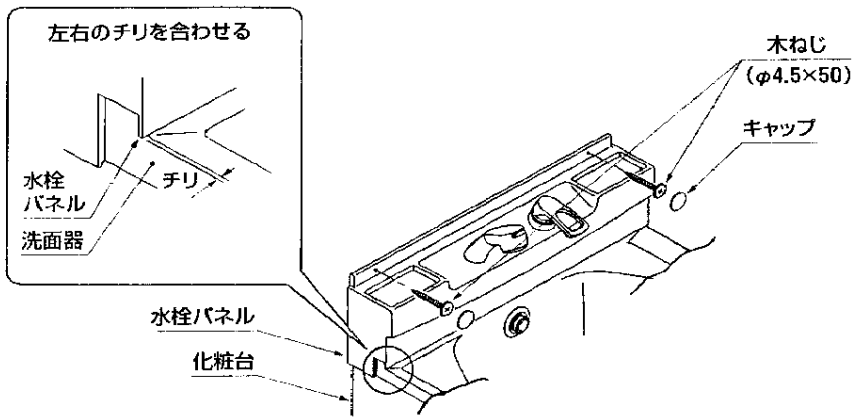


3. 製品の取付け

水栓の取付いている水栓パネルを化粧鏡側に同梱の木ねじ（タッピンねじ 4.5×50）にて2ヶ所取付けてください。

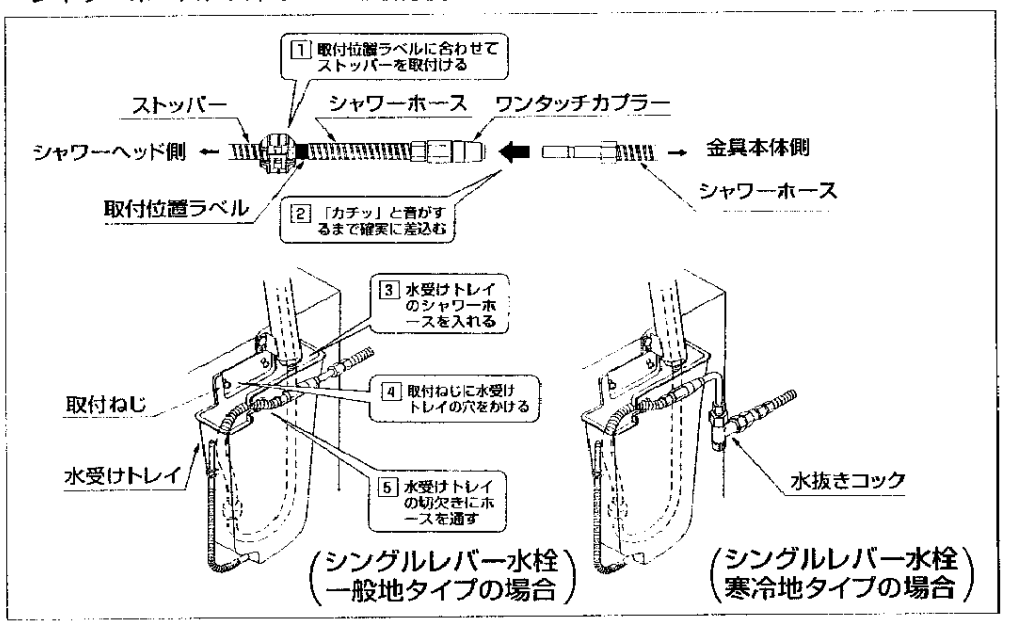
この後、ねじの頭に化粧キャップをかぶせてください。

付属の木ねじ（2本）で確実に固定して、化粧キャップをはめ込んでください。



4. シャワーホースの接続及び水受けトレイの取付け

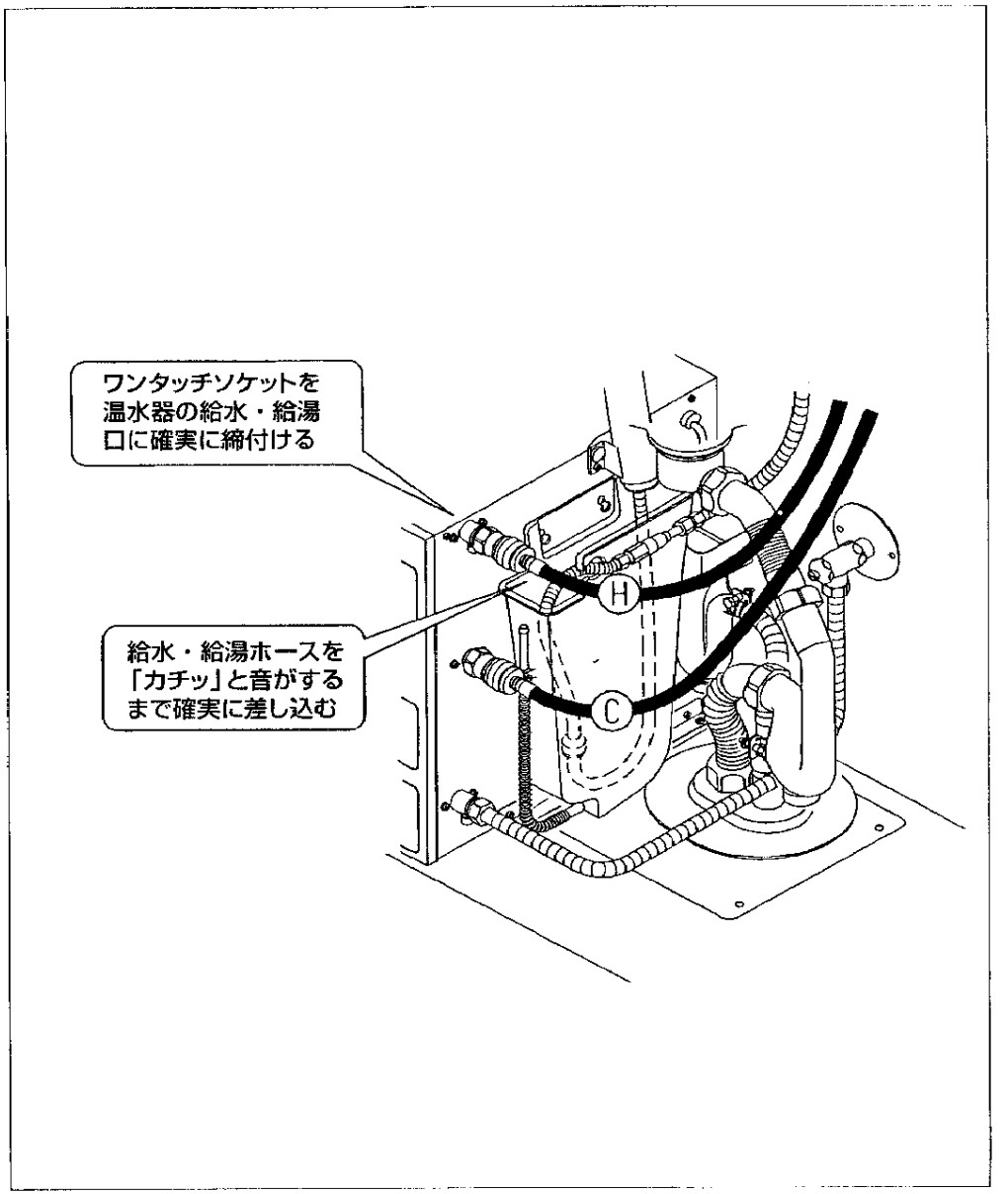
・ シャワーホースにストッパーを取付後、ホースを接続し、下図のように入れてください。



5. 給水、給湯ホースの取付及び施工上の注意点

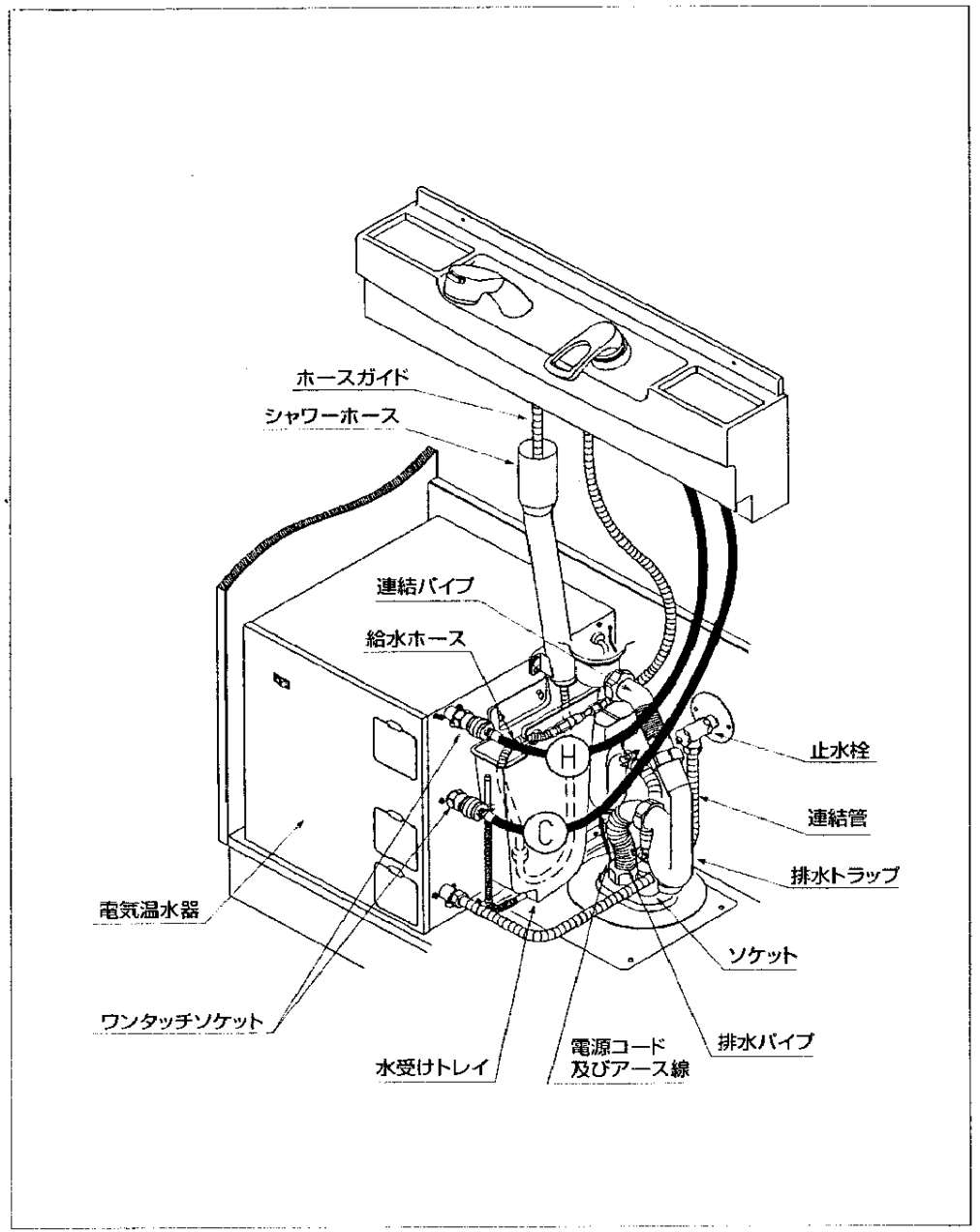
(1) 同梱のワンタッチソケットを止水栓に取付けてください。

次に給水、給湯ホースをワンタッチソケットにカチッと音がするまで差し込んでください。



6.取付完了図

下図のように接続されていることを確認してください。



使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。
レバーハンドルを速く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じることがありますが故障ではありません。
万一、レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

1. 水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは絶対に使用しないでください。
   - TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
   - シンナー、ベンジンなどの溶剤

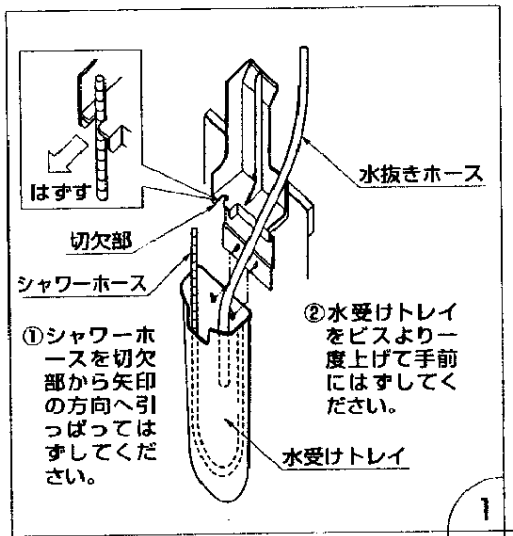
   もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。
2. 水栓の表面や樹脂部に付着した水あかなどの汚れ落としにTOTO水あかクリーナーのご使用をお勧めします。
   TOTO水あかクリーナーは水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去します。
   お求めはお近くのTOTOショールームもしくはTOTOパーツセンターにお尋ねください。
3. 軽い汚れの場合は水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れをふき取ってください。
   ひどい汚れの場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取った後、水洗いし、からぶきしてください。
4. 水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは使用しないでください。
   - TOTO水あかクリーナー以外のクレンザー、磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
   - ナイロンたわし、ブラシなど

裏面につづく

寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は、器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて、次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

水抜方法

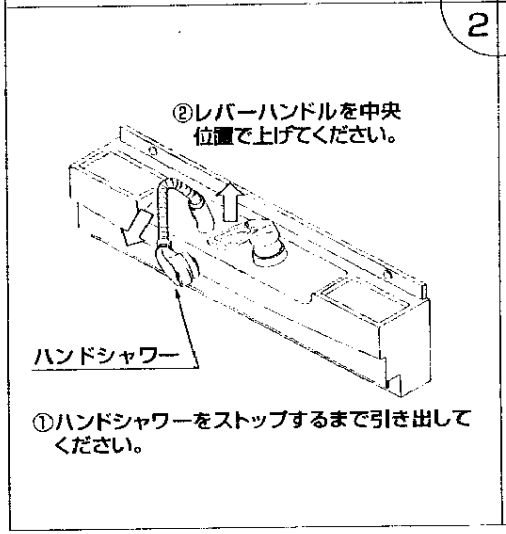


●水抜きの際、ハンドシャワーを振ると中の水が抜けやすくなります。

※水抜コックを開ける時は受皿などで受けてください。
※水抜き後は必ず水抜コックを確実に閉めてください。
※水抜き後は必ず水受けトレイを元にセットしてください。この時ホースは切欠部へ入れてください。

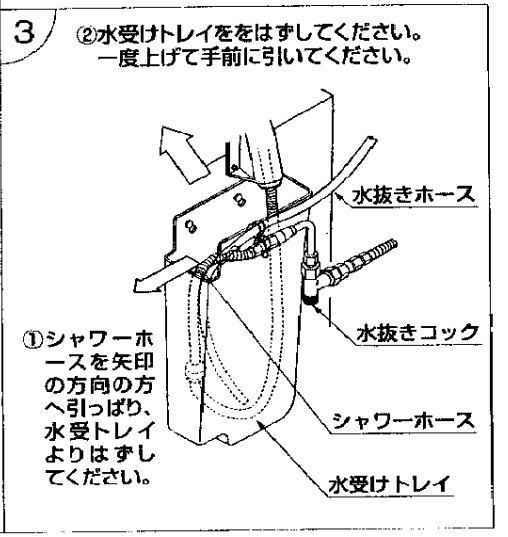
1

2



3

②水受けトレイををはずしてください。
一度上げて手前に引いてください。



分 解 と 点 検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

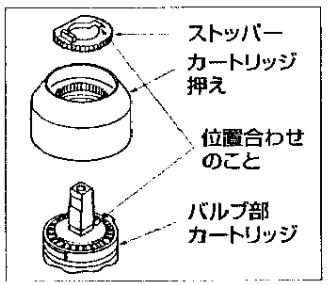
現　　象	点検項目
吐水量が少ない。	1、2
水が止まらない。	3、4、5、6
吐水温度不良。	1、2
ハンドルがガタつく。	7

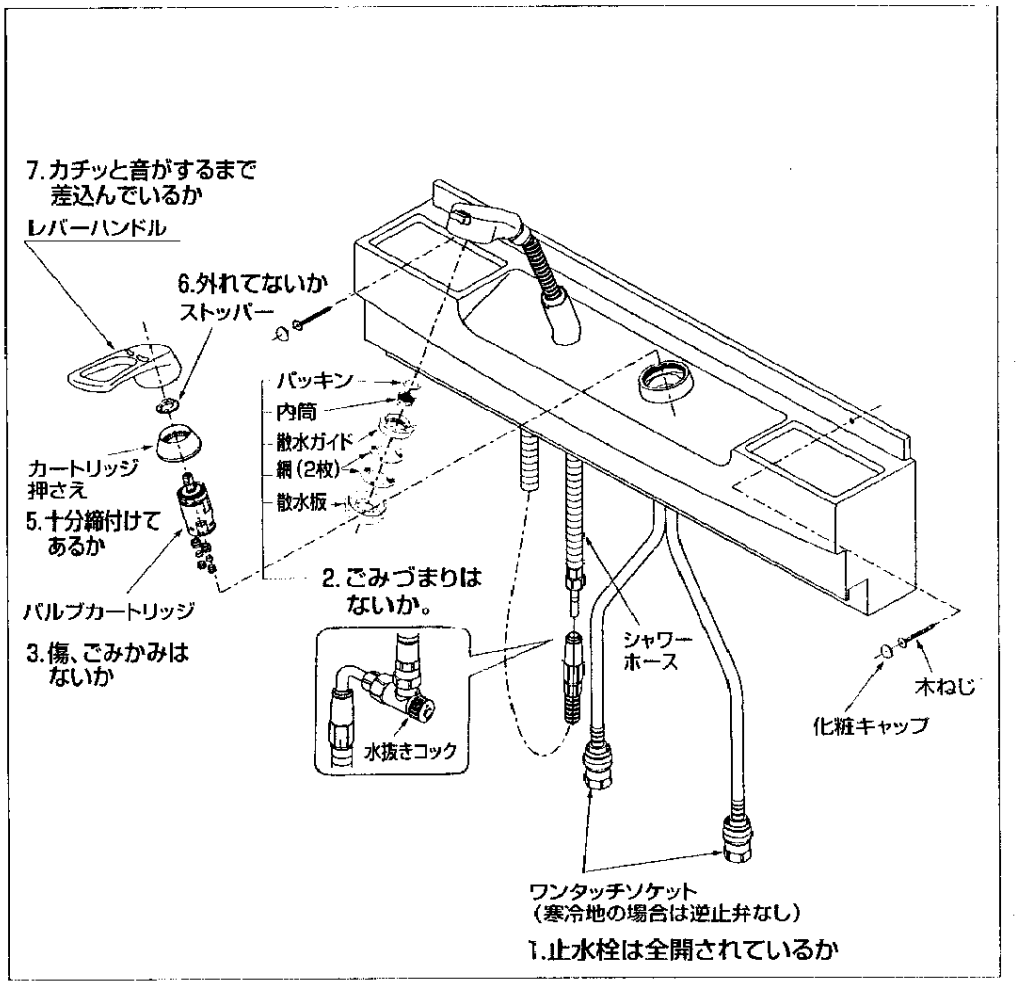
ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。再セットされる際に、ストッパーを組込むときは、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押込むこと。その際カートリッジ押えの内側の歯と、ストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせるように調整してください。





再生紙を使用しています。※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。